

研究奨励金等を受領された先生方の研究活動調査集計報告

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団は、平成27年度に財団設立40周年となり様々な記念事業を展開しております。その中の一つの活動として、直近20年間の平成7年度以降に当財団の研究奨励金・海外留学助成金等を受領されました先生方にアンケートをお願い致しましたところ、ご多用の中を約7割の先生方からご回答を頂くことができました。ご協力を賜り、誠にありがとうございました。アンケート結果を整理致しましたので、以下に報告申し上げます。

◆ アンケートを送付させて頂いた先生：

1995～2013年度に研究奨励金・研究助成金・海外留学助成金を受領されました先生延べ389名（連絡先不明等で43名を除外）

◆ アンケートをご返送頂いた先生：276名

＜内 訳＞

- ・医学系機関にご所属の先生：200名
- 薬学・歯学・その他生命科学関連機関にご所属の先生：76名
- ・交付時と同じ研究機関にご所属の先生：168名
- 他の施設へ異動された先生：108名

設問1 「所属学会」について

所属学会を列举して頂きました。平均で4.7の学会にご所属されており、多くの先生が所属の学会は表1の通りで、日本臨床薬理学会には約1/3の99名が加盟されていました。

表1-1 研究奨励金等を受領された多くの先生が加盟されている国内学会

学会名称	加盟者数
日本内科学会	119
日本臨床薬理学会	99
日本薬学会	70
日本癌学会	50
日本循環器学会	44
日本薬物動態学会	44
日本医療薬学会	41
日本薬理学会	39
日本生化学学会	29
日本精神神経学会	17

表1-2 研究奨励金等を受領された多くの先生が加盟されている国際学会

学会名称	加盟者数
American Society of Clinical Oncology	9
American Association for Cancer Research	8
American Society of Clinical Pharmacology & Therapeutics	8
American Heart Association	7
The International Society for the Study of Xenobiotics	7
American Society of Hematology	6

設問2 「研究の実施における弊財団交付金の寄与」について

財団助成のインパクトについて、5段階で評価頂きました。財団助成のインパクト評価、及びインパクトに結びついた要因を、それぞれ図1、及び図2に示しました。約9割の先生から大きなインパクトがあったとのご回答を頂きました。

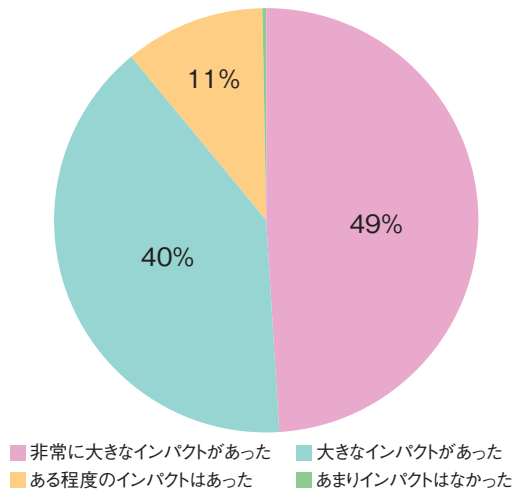


図1 臨床薬理研究振興財団助成金の研究推進におけるインパクト評価

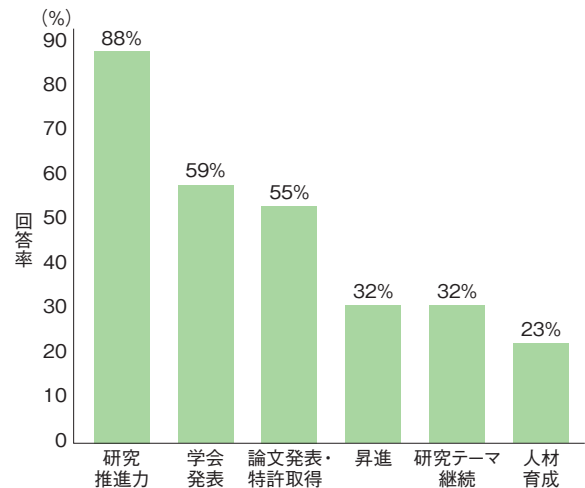


図2 研究助成がインパクトに結びついた要因

設問3 「臨床薬理研究の継続」について

現在も臨床薬理研究を継続されているかとの設問に対するご回答は、図3のとおりでした。82%の先生が現在も臨床薬理研究を継続しておられました。

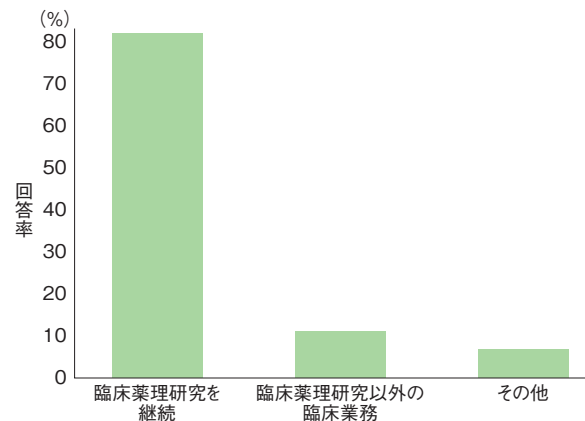


図3 臨床薬理研究の継続について

設問4 「研究論文」について

「臨床薬理研究」に関する論文数は、ご記入頂いた245名の平均値が23.6報でした。主要論文として5編程度ご記入頂いた発表論文を累計したときに上位となる学術誌を表2に示しました。表中の学術誌のImpact Factor加重平均は、6.75となります。

表2 発表論文の多い学術誌

No.	Journal	Impact Factor	発表論文数	No.	Journal	Impact Factor	発表論文数
1	Clinical Pharmacology & Therapeutics	7.39	46	15	Journal of Clinical Pharmacology	2.47	10
2	PLoS One	3.53	25	16	Pharmacogenomics	3.43	10
3	Drug Metabolism and Pharmacokinetics	2.86	20	17	Therapeutic Drug Monitoring	1.93	10
4	Hypertension	7.63	19	18	Blood	9.78	9
5	British Journal of Clinical Pharmacology	3.69	18	19	Cancer Research	9.28	9
6	Circulation	14.95	18	20	Journal of Biological Chemistry	4.60	9
7	Proceedings of The National Academy of Sciences of USA	9.81	18	21	Journal of Clinical Investigation	13.77	9
8	Drug Metabolism and Disposition	3.33	16	22	Journal of Immunology	5.36	9
9	Pharmacogenetics and Genomics	3.45	16	23	Clinical Cancer Research	8.19	8
10	Biochemical and Biophysical Research Communications	2.28	15	24	Hypertension Research	2.94	8
11	Biological & Pharmaceutical Bulletin	1.78	15	25	Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism	5.34	8
12	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	2.57	14	26	Nature Medicine	28.05	8
13	Cancer Science	3.53	13	27	Nature	42.35	8
14	European Journal of Clinical Pharmacology	2.70	11	28	Pharmaceutical Research	3.95	8

設問5 「人材育成」について

指導・育成した「臨床薬理研究」に関与する人数について回答を頂きました。結果を図4に示しました。多くの先生方が後進の指導・育成に尽力されておられます。

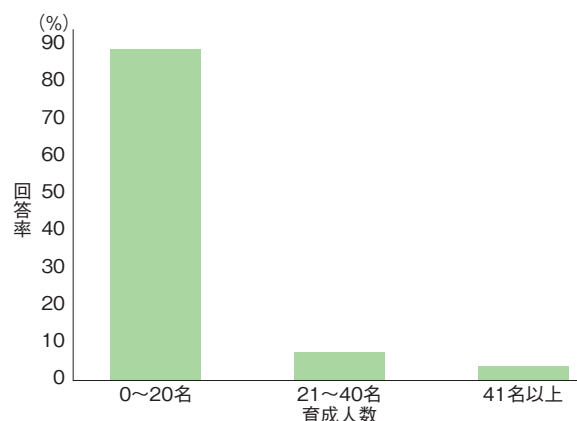


図4 指導・育成された「臨床薬理研究」に関与する後任の人数

設問6 「これまでの褒賞受賞」について

学会、又は民間財団からの褒賞を受けたご経験のある先生は、67%でした。他の生命科学関連 公益財団法人の褒賞(上原賞、持田記念学術賞、高峰記念第一三共賞)を受賞された方もおられます。

設問7 「これまでの学会の年会長職のご経験」について

地方会も含めた年会長のご経験がある方が17%との結果でした。

設問8 「平成23年度以降の他の研究助成受給実績」について

平成23年度から平成26年度の4年間の臨床薬理研究振興財団以外の研究助成受給実績を回答頂きました。当該期間に、88%の先生が何らかの研究助成を受けられており、研究助成受給実績を図5に示しました。

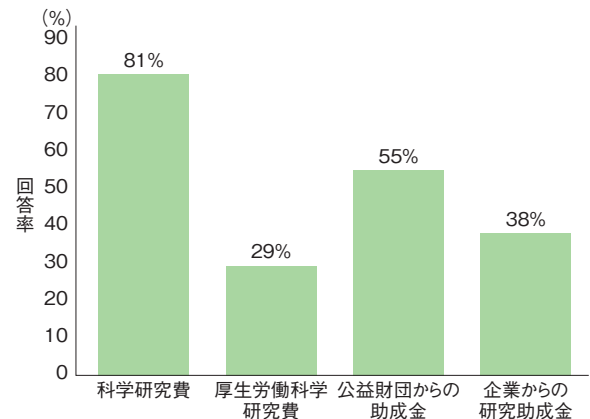


図5 平成23年度から平成26年度の研究助成受給実績

設問9 「弊財団の研究奨励金募集研究分野を臨床薬理研究に絞っていること」について

臨床薬理研究振興財団が現在採用している募集分野が妥当であるかについて回答頂きました。その結果、94%の先生が適切であると評価されました。なお、平成16年度までの募集形態である特定テーマの方が望ましいと回答された先生は7名でした。

設問10 「弊財団の研究奨励金等の申請書類及び申請手順」について

臨床薬理研究振興財団が現在採用している募集手順が妥当であるかについて回答頂きました。その結果、未記入を除く全員96%の先生が適切であると回答されました。弊財団の助成事業、及び募集方法・手順は適切との評価を頂き、コメント欄にも多くの臨床薬理研究振興財団の助成事業へのご意見を頂きました。

これからも、弊財団に頂いたご意見を踏まえて、時代の変化に合わせた的確な助成事業に注力したいと思いますので、ご支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

◆ 研究活動調査にご協力頂いた先生

(敬称略、50音順)

合葉哲也	粟生修司	秋好健志	浅山敬	有吉範高
安藤仁	安藤雄一	家田真樹	井岡友梨	池末裕高明
池田華子	池水信二	石井藤晃	石黒英洋	石田達夫
石森直樹	磯本正二郎	伊藤村健	伊藤博道	稲瀬正典
乾田直輝	井上治久	岩本本也	岩崎谷洋	岩牛島健太郎
岩田仲生	内田邦弘	内田直樹	江頭輔人	海老原健
江本信昭	及川洋一	大大島康雄	太田茂安	太田西有浩
大大橋朋	大緒方壽正	大岡塚文雅	大岡戸本安	大岡西本泰
岡本能弘	小川佳宏	荻原俊男	尾崎健二	小勝谷友宏
小田切圭一	鬼塚真仁	折笠秀樹	恩田健洋	神谷達司
加藤将夫	門脇則光	金井田慎二	嘉川園浩	神河木利美
川合眞一	川上純一	河岸住浩	北園刀浩	清谷一馬
神田善伸	菊地利洋	久住坂藤	功島林祥	桑原史和
桑原史和	小池竜司	小後藤柳	小小山井	小菅靖奈
小菅靖奈	小林国彦	小櫻井淳	小櫻井文智	小近藤直実
佐々木誠人	佐田政良	猿渡水波	澤下妻本	柴田浩陸
白井大介	白鳥山雄一	菅波崎吉	杉鈴川佛	杉山見聰
鷲見真司	住澤橋晴	住高滝	前高橋口	高井武功
高畑英之	田武半真	田代原信	田中置清	高竹内宏
田中宏樹	塚元弘彦	辻大知可	津田智隆	千鶴岡秀雅
登坂雅彦	富澤陸宏	富田佐光	内藤島利哲	永井信美
中島孝俊	中島博久	中村裕成	中村木田	長野祥二
竹ノ下淳	名村浩一	西橋本和修	長橋濱平	西村憲光
野村光	橋口好博	花菱深福	福原田真	林岡良史
廣岡剛	廣田将秀	福古前松	福古前田	藤田朋恵
堀田里直	堀内正嗣	古松三浦	古松三浦	蒔田直
松本裕	増浦島徹	三水宮	三南向	水口川
水宮川	森晶浩	森八尾	森八木	村田寛
森本成	守屋孝正	矢野下	山山山	安崎浩
山崎浩	山下俊英	山本英一	山山山	山村井
山井毅	山田契昭	山田吉綿	山吉成	横原達
吉原達	吉村	綿田	和田	和田啓
和	道	彦	誠	啓